

網走川水系流域治水プロジェクト（素案）

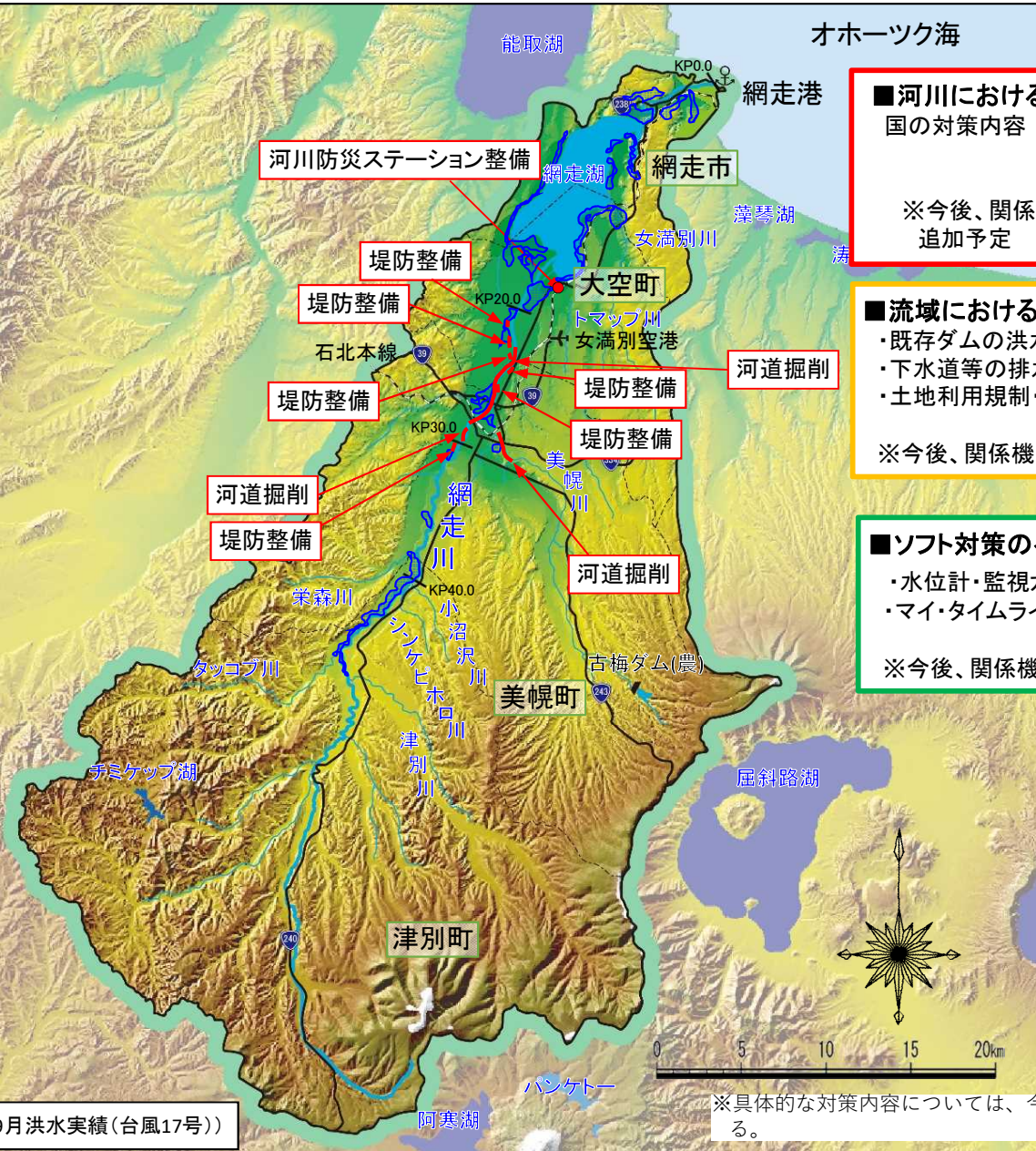
～網走地域の魅力ある観光資源と農林水産業を支える人々の暮らしを守る治水対策の推進～

○ 令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、網走川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、戦後最大の平成4年9月洪水と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。

【位置図】



平成4年9月台風17号
被害家屋322戸、氾濫面積9,585ha



■ 河川における対策
国の対策内容 河道掘削、堤防整備、
水防拠点整備 等
※今後、関係機関と連携し、道管理区間の河川改修を
追加予定

■ 流域における対策のイメージ
・既存ダムの洪水調節機能の強化
・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
・土地利用規制・誘導（災害危険区域等）等
※今後、関係機関と連携し対策検討

■ ソフト対策のイメージ
・水位計・監視カメラの設置
・マイ・タイムラインの作成 等
※今後、関係機関と連携し対策検討

浸水範囲(平成4年9月洪水実績(台風17号))

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。